

30年12月分

問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

1. 調査実施期間

平成30年 12月1日～ 30年12月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
12月分の回答企業数は44社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)=[「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)−(「減少」の評価を行った回答の割合)×2−(「やや減少」の評価を行った回答の割合)]÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		30/12月	31/1月	2月
仕入動向	国産材	5.7	△ 10.0	△ 1.5
	外材	△ 5.0	△ 10.0	△ 13.2
販売動向	国産材	2.9	△ 1.4	△ 10.6
	外材	△ 5.0	△ 8.8	△ 7.9
在庫動向	国産材	0.0	2.9	0.0
	外材	0.0	△ 6.3	△ 3.9

・国産材、外材の仕入・販売動向は12月の増加から1月、2月は減少に。外材は3カ月連続減少。

・国産材の在庫動向は12月の横ばいから1月は増加、2月は再び横ばいに。外材は12月の横ばいから1月、2月は減少に。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	30/12月	31/1月	2月
スギ正角(グリーン)	6.0	0.0	0.0
スギ正角(KD)	8.9	1.8	0.0
ヒノキ正角	1.7	0.0	0.0
ヒノキ土台角	12.1	1.7	△ 3.7
米ツガ正角(現地挽)	4.3	0.0	0.0
米ツガ防腐土台角	4.0	0.0	△ 4.0
米ツガ割物(現地挽)	6.3	2.1	2.1
米マツ平角	1.8	0.0	△ 1.9
北洋アカマツタルキ(現地挽)	15.0	6.7	5.4
ホワイトウッド集成管柱	8.9	1.8	0.0
レッドウッド集成平角	3.7	0.0	1.9
型枠合板(輸入)	27.8	13.0	14.0
針葉樹構造用合板	11.5	3.8	4.2
針葉樹構造用合板(厚物)	16.7	4.2	2.2

・スギ正角はグリーン、KDとも保合。
・ヒノキは正角、土台角とも保合。
・米ツガ正角(現地挽)、防腐土台角、割物(現地挽)とも保合。
・米マツ平角は保合。
・北洋アカマツタルキ(現地挽)はやや強含み。
・ホワイトウッド集成管柱は保合。
・レッドウッド集成平角はやや弱保合。
・型枠合板(輸入)強保合。
・針葉樹構造用合板は厚物を含め保合。